唱え歩く空也上人立像は、鎌倉期

における最高傑作の一つであり、

辻に鉦を叩きながら一心に念仏を

体の阿弥陀仏。吹きすさぶ京都の ま先、虚空に向かって放たれる6

衣、寒風に向かって踏みしめるつ

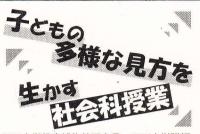
木枯らしにはためく粗末な法

八波羅蜜寺に名を残しているにす

世界に誇る日本の宝だと私は思

第5回

ホ



(5)

玉川大学教育博物館研究員 ・玉川大学講師

多賀 譲治

る「奇怪な像」としか映らなかっ にやら奇妙な仏を口から出してい ことはできなかった。 たのだ。当然のことながら子ども たちにその像の持つ意味を伝える

年にわたり西国武士の拠点であっ 鎌倉幕府の出先機関として200 に六波羅の地名は、一本の通りと 平家一門の館が建ち並び、後に

の美術史に与えた影響はまことに るとすれば、それは紛れもなく鎌 絵画は、非常に写実的である。日 思えなかった。貧相な乞食僧がな 倉時代であり、武士の台頭が日本 本にルネッサンスというものがあ 大きい。ところが、若い頃の私は 上人像がちっとも良いものだとは ご存知のように鎌倉期の仏像や

たであろう。

こうなろうとは夢にも思わなかっ ちも800年の後に「この地」が ぬ子どもたちの明るい声が満ちて ぎない。その跡地は小中一貫校と いる。平家の公達や坂東の武者た なり、校庭には馬のいな鳴きなら 当初、私は教科書でお馴染みの

> 救済をひたすら祈る「この人」の よそ1千年という時を超え、心の が、すぐにくぎ付けとなった。お なというのが最初の印象だった っておられた。思ったより小さい さて、空也さんはその近くに立

上げられてきたのか、その意味が 気迫が直接伝わってきたのだ。空 也像がなぜ教科書や副読本に取り

運慶の子康勝(こうしょう)であ 文化までをも読み取ることができ 社会や鎌倉という時代の精神性や ることによって仏法を表した。 いえよう。作者は不世出の大仏師 とが必然的に産みだした産物とも る。しかし、本物は名品や至高の れた"ホンモノ"だったからであ 仏教のこと、像が造られた当時の る。彼は仏像ではなく「人」を彫 たのは、作者の技術と心が体現さ このように一体の像から民衆派

週2回 月・木発行 発行所 教育新聞社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 表 303(3295)7051 講読申し込み・お問い合わせ] http://www.kyobun.co.jp/ 〔購読料・月額〕 2.500円 + 税 ©教育新聞社 2014

か ら学ぶこと 意 義

作られたというところも興味深 像が清盛生前ではなく鎌倉時代に の姿を私たちに伝えている。この りの佇まいで、傲慢、源家の宿敵 寺に立ち寄った。経巻を持ち優し 清盛座像を見るつもりで六波羅蜜 い眼差しの相国入道は思ったとお というイメージはなく、清盛本来

分かった瞬間であった。 まで及んだ。像は庶民に広まった の影響は後の法然や親鸞、さらに の先駆者だが、生涯教団を持たな え、救いを求める空也は称名念仏 鎌倉仏教と当時勃興した写実主義 踊り念仏で諸国を遊行した一遍に い孤高の人であった。しかし、そ ひたすら「南無阿弥陀仏」を唱

> はもちろんのこと、作者や使った を澄ませてよく見れば、時代背景

人の想いが必ず伝わってくる。 見る眼が育つとは心が育つとい

展示されている生活用具や土器・ 作品に限らない。近くの資料館に

石器、あるいは証文の類まで、

はいうまでもない。

うことで、そうした経験が教師の

力となり学習の深まりに通じるの